

事業所名

ポムリエ アルファ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R7

年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		共に歩み、共に遊び、共に育む スタッフは利用児童と家族様の道標となるべく、日々の療育力を向上させる											
支援方針		利用児童（本人）、家族保護者、ボムリエの相互協力のもと、より良い療育を目指します。 保護者様と相談し協力しながら、道標を見つけ出せるように療育していきます。 対象学年：小学校3年生～高校3年生											
営業時間		9時		30分から		18時		0分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	基本生活のスキルの習得―自らの回りを清潔にし（手洗い、身だしなみ等）、整理整頓ができるように支援する。 生活リズムや生活習慣の形成―1日のスケジュールを提示し時間意識をした中で行動することで生活リズムを自然と身につける。 食育―調理活動を行い、食物に興味を持つように支援する。											
	運動・感覚	運動―運動の基本となる動き（体幹：チューブトレーニング・ラダートレーニング・ダンス等）を身につけるための運動を支援する。 感覚―切る、折る、貼る、つまむなどの巧緻動作にチャレンジし手先、指先を刺激を与える支援をする。											
	認知・行動	視覚ツールを用いて支援―利用児童の特性やストレngthsを活かしイラストやタイマーを用いて児童に合わせた支援をする。 ビジョントレーニングを通じて「眼球運動」や「視空間認知」「目と手の協応」の機能を向上を支援する。それにより日々の生活や学習上の困りごとを改善につなげる。 また理科実験や音楽活動を通じて認知機能の向上につなげる。											
	言語 コミュニケーション	グループコミュニケーション―例題やイラストを用いて相互関係を理解して自分の考えを伝える支援をする。 利用児童に合わせたコミュニケーション―指差しを交え意思疎通をする。											
	人間関係 社会性	人間関係―遊びを通じて適切な人との関わり方や集団での生活スキルを身につけ、相手の気持ちを考え人との距離感をとれるようにする支援をする。 社会性―バスや飲食店・スーパーなどの金銭のやり取りや受け取り方を経験し外出先でのマナー等の理解を支援する。											
家族支援		・定期的に家族と連携を図り、支援方針について情報提供を行います ・必要時ケース会議を開催し、学校や園、他の通所先と連携を図ります						移行支援		・中高生の個別対応（学習、個別課題） ・不登校児童の居場所づくり ・家庭・学校・他事業所との連携			
地域支援・地域連携		・医療・福祉・教育の連携						職員の質の向上		・会社全体学習会（年4回） ・ヒヤリハット分析、報告会 ・法定研修(虐待防止、感染症予防) ・ケーススタディ（事例検討）への取り組み			
主な行事等		夏：プール 秋：ハロウィン 冬：クリスマス・バレンタイン 春：お花見 避難訓練 長期休み：ボーリング カラオケ 社会見学（他府県への外出）等のレクリエーション（R6実績：大阪ガス見学・大滝ダム・面不動鍾乳洞等） その他：ミカン狩り・いちご狩り											